

# 明宝特産物加工(株)

郡上市・食品製造

従業員数 / 男性50名 女性26名 計76名 ※令和5年11月現在

エクセレント  
POINT

- ① 部署の垣根を取り払ったコミュニケーションの創出
- ② 新工場竣工による生産性と品質の向上
- ③ 食育の普及と雇用の活性化で地域振興に貢献



生産部門に携わる和田仁美さんは「新工場は設備が整い働きやすい。余裕をもって仕事に取り組むことができるようになった」と笑顔を見せる。

また部署の垣根を越え、広くメ  
取得にもつながった。  
の結果、従業員同士の理解が深ま  
り、業務の状況や家庭環境などお  
互いの状況を尊重し合う風土が醸  
成され、部署を超えた業務サポー  
トが充実し男性従業員の育児休業  
取得にもつながった。  
明宝特産物加工では、風通しの  
良い職場づくりを目指して、部署  
ごとの縦割りの意識を解消し、年  
6回の部署長会議や意見交換会、  
経営方針を共有する研修など従業  
員同士の交流の場を増やした。そ  
の結果、従業員同士の理解が深ま  
り、業務の状況や家庭環境などお  
互いの状況を尊重し合う風土が醸  
成され、部署を超えた業務サポー  
トが充実し男性従業員の育児休業  
取得にもつながった。

## アイデアを出しやすい環境で働きがいをも高める

ンバーを募って新商品開発チームを  
設立。キャリアや知識は問わず、  
やる気があれば加入できる。トッ  
プダウン式では埋もれがちだった現  
場の声を掘り起こし、良いアイデ  
アを積極的に拾い上げる環境を整  
えた。

18年に竣工した新工場の設計に  
も従業員の意見が取り入れられた。  
搬入から出荷までの動線を一本化  
して作業効率を上げ、一度に多品  
種の製造が行えるよう設備を拡充。  
旧工場に比べ生産性や品質が格段  
に向上した。

会社の考え、そして従業員一人  
ひとりの考えを共有できる場の確  
立と技術面の進歩が、「自分たちの  
手で新たなふるさとを味を伝えて  
いきたい」という思いがこもった新  
商品「郷の宝」の開発につながり、  
具体的な実績を生み出している。

また元々第3セクターとして設  
立した経緯から、地元小学生に向  
けた出前授業の開催や、ジビエを  
使った商品開発への技術協力など



地元の小学校で開かれたハムづくり教室の様子。従業員自ら講師となり、子どもたちを対象にした食育活動を行っている。

地域貢献にも力を入れている。従  
業員の約28%がUターンで就職  
しており、移住をきっかけに入社し  
た従業員も多い。人口約14000  
人の明宝地域にとって約80人の従  
業員を抱える同社の発展は、地域  
経済に直結すると同時に、地域の  
魅力そのものが会社に入材をもた  
らしている。地域の活性化に貢献し  
住民の暮らしを守る企業として、  
今後も地域密着の経営に尽力して  
いくことを主眼に置いている。